

2009年10月7日のスピーチ

こんにちは、奨学生のリュウコクカです。9月12日に鴨川シーワールド、マザー牧場などの日帰り見学に参加しました。ロータリーアン、学友、現役奨学生および家族などの大勢の方が出席しました。一日雨で天気はあまりよくなかったですが、動物ショーを見たりすることは非常に楽しかったと思っています。では、見学の感想を報告させていただきます。

早朝に横浜から出発し、午前にはマザー牧場に着きました。鴨や羊ショーを見た後にバーベキュー（食材：羊肉、野菜と牧場産の牛乳）が行われました。その後シーワールドに移動しながら、沿道の山風景を見ました。その間、お腹が一杯になって、揺りかごのような車に乗って夢の世界へと入っていた方も沢山いました。車は山や谷を越えて、目的地に向かって走っています。山や自然の景色が好きな私は、その自然の魅力に引き付けられましたが、人間の偉大さをもっと感じました。そんな難しい所に人間の手が入って安全な道を作ったというのは人間の力です。人間の力は自然の恵みを人間の目の前に送ってくれるのが人間の偉大さでしょう。午後にやっと鴨川シーワールドに着きました。きらきらと輝く波、見渡す限り果てしない碧水は目の前に現れた時に、さまざまの大海に関する思いが出されました。そして、海岸の砂を持って記念写真を撮りました。館内に入ると、いろいろな海洋生物が見られました。可愛い魚類が人間が設置した空間に自由に泳いでいますが、多少彼らの可哀相が感じました。もし、野生に戻れば、彼らは自分の自由をもっと取れるでしょう。中に進みますと、自分が今まで見たことがない生物を見て非常に感動しました。最後、見学のクライマックス、イルカショーがやってきました。指導員の指示通りに様々な動作ができて、イルカの頭のよさ、瞬発力が凄く感じました。演劇が短いですが、多くの観客が拍手しながら、満足な表情が現れました。人間と動物の信頼関係がなかったら、そんなスムーズな流れができないと思います。帰りの途中、一回買い物をして、夕方の7時位に横浜駅に戻りました。

参加していた皆さま一日お疲れ様でした。

峯尾先生、一日お世話していただき、ありがとうございました。

記念写真：

掲載させていただきます。





